



エコ・ファーストの約束 (更新書)

～環境先進企業としての地球環境保全の取り組み～

環境大臣 西村 明宏 殿

令和4年10月20日

ダイキン工業株式会社
代表取締役社長 兼 CEO 十河政則

ダイキングループは地球環境保全を事業経営の最重要課題と位置付け、世界中に快適な空気環境を提供しながら、温暖化影響を低減する取り組みを進めています。

1 気候変動対応の取り組みを推進します

- 2050年にカーボンニュートラルを目指す「環境ビジョン2050」のもと、2025年に30%以上、2030年に50%以上の削減に取り組みます。
(2019年度を基準年として未対策のまま事業成長した場合の排出量と比べたCO₂実質排出量)
- バリューチェーン全体を見渡して事業活動が環境に与える影響を把握し、開発生産時の温室効果ガス排出削減と、特に影響の大きい製品の温暖化影響緩和に積極的に取り組みます。
- 開発生産時による環境負荷を最小化し、2025年の温室効果ガス排出量120万t-CO₂をめざします。
(2015年度比34%削減)
- 環境配慮製品の効果や普及の進捗を適切に開示し、ステークホルダーへの啓発に取り組むことで社会全体の脱炭素化に貢献します。
- TCFDに賛同し、気候変動が事業に与えるリスク・機会を分析して経営戦略・リスクマネジメントに反映します。

2 ステークホルダーと連携し、生物多様性の保全に取り組みます

- 事業が最も生物多様性に影響を与える温室効果ガスの排出について、サプライチェーン全体で削減目標を定め、進捗情報を積極的に公開します。
- 原材料調達や各生産拠点での事業活動において生物多様性に配慮し、世界目標に沿った保全活動を行います。
- 世界7カ所の森林保全「“空気をはぐくむ森”プロジェクト」をNGOと協働で実施。10年間で1,100万ヘクタールの森林を保全し、700万t-CO₂排出抑えます。

3 従業員が主体となり積極的に環境保全活動に取り組みます。

- 小学生に環境教育プログラムを無償提供し、持続可能な社会を考える学びの場を提供します。
- 従業員が主体となり、世界の各拠点でグリーンハートファクトリー・オフィス活動を展開。省エネなどの環境負荷を最少化させる取り組みに加えて、事業所内での生物多様性活動や、地域と連携した環境社会貢献活動を行い、従業員の環境意識を向上します。

ダイキン工業株式会社は上記取り組みの進捗状況を確認し、その結果について環境省へ報告するとともにウェブサイトやレポートなどによる定期的な公表を行ってまいります。

